

## 資料2

西東京市公民館運営審議会  
令和5年度第3回定例会

## 令和5年度 公民館主催事業計画書

令和3年度～5年度公民館事業計画における基本方針

- 1 開かれた公民館
- 2 問いかける公民館
- 3 地域とともに
- 4 地域の中につながりを

公運審提出日 令和5年7月19日

|   | 実施館 | 事業名   | 基本方針   | 期間・回数   | 事業概要   | 主な講師等   |
|---|-----|---|--------|---|--|---|
| 1 | 柳沢  | 現代社会を考える講座特別企画<br>一人芝居<br>『最期の手紙』                 | 1      | 9月18日<br>月曜日・祝日<br>14時から16時30分                  | 第2次世界大戦下、ナチスドイツに占領されたウクライナが舞台の一人芝居を上演し、その後、感想等を伝え合う懇談会を行う。   | 志賀澤子（東京演劇アンサンブル代表、俳優、演出家、プロデューサー）   |
| 2 | 柳沢  | 地域づくり未来大学<br>私たちがつくる「まちの顔」<br>～柳沢駅南口ロータリーの活用を考える～ | 2<br>4 | 9月23日から<br>12月9日まで<br>土曜日<br>10時から12時15分<br>全6回 | 本事業は、市の総合計画に位置付けられた5年継続講座である。最終年である今年度は、実践編として、柳沢公民館周辺地域の課題である「柳沢駅南口ロータリーの活用」をテーマとして提示し、市民同士で解決策を探り、その実現を目指す。最終的に市民の考えをまとめた提案書の作成を目標とする。 | 市川望美（非営利型株式会社Polaris取締役ファウンダー）<br>中村晋也（ヤギサワベース）<br>薩川良弥（空き家をスナックする会主宰、合同会社パッチワークス 代表）<br>田中美帆（株式会社cocoroé ソーシャルデザイン・ディレクター、多摩美術大学「ソーシャルデザイン論」講師）<br>児島秀樹（グッドモーニング調布！代表） |

|   |     |   |        |   |   |   |
|---|-----|---|--------|---|---|---|
| 3 | 田無  | 女性のための講座（保育付き）<br>絵本とわらべうたで楽しい子育て       | 1<br>2 | 10月4日から<br>12月6日<br>水曜日<br>10時から11時45分<br>全10回<br>※保育説明会：9月27日<br>(水曜日) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本やわらべうたを通して、母と子の関係性を見つめ自分自身の子育てを見直す機会とする。</li> <li>・チャイルドビジョンを用いて、おとなと子どもの目線・視野の違いを体感する。</li> <li>・子ども格差について学ぶ。</li> <li>・岩崎ちひろの生き方を通して、子どもたちが安心して暮らせる平和な社会や、女性として自分自身の生き方について考える機会とする。</li> </ul> | <p>福岡淳子（保育と人形の会、日本と子どもの本研究会会員）</p> <p>原島 恵（ちひろ美術館主任学芸員）</p> <p>西村説子（NPO法人CAPセンターJAPAN 就学前プログラムトレーナー、NPO法人埼玉子どもを虐待から守る会理事）</p> |
| 4 | 芝久保 | 創作講座<br>開いて楽しい飛び出すカードをつくろう              | 1      | 9月20日<br>9月27日<br>水曜日<br>10時から12時<br>全2回                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館を身近に感じてもらえるように、気軽に参加でき、市民の関心に沿うような事業として実施する。</li> <li>・色について学びながら、生活を豊かににする新しい学びの機会にする。</li> <li>・作品ができる楽しさや他者の作品を鑑賞することで影響を受け合いながら達成感を味わう場にする。</li> </ul>                                       | 田村陽子（元デザイン専門学校講師）   |
| 5 | 芝久保 | 多世代交流講座<br>西原自然公園をみんなで観察～雑木林の再生と五感でアート～ | 1<br>3 | 9月24日<br>10月1日<br>日曜日<br>10時から12時<br>全2回                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃、公民館を利用しない市民に気軽に参加してもらうことを目指し、子どもから高齢者と幅広い世代が共に学び、同じ体験をすることで同じ地域に住む人との出会いや交流を提供する。</li> <li>・芝久保公民館の近隣にある西原自然公園の雑木林の歴史と保護活動を知り、本公園の落葉を使ったアートを体験する。</li> </ul>                                     | <p>西原自然公園を育成する会</p> <p>大野恭裕（臨床美術士）</p> <p>谷 いづ美（臨床美術士）</p>  |

|   |       |   |        |  |  |   |
|---|-------|---|--------|--|--|---|
| 6 | 谷戸    | 子育て中の人のための講座<br>ゆったり軽やかに！ 子育てを楽しもう                | 1      | <p>9月21日から<br/>12月21日<br/>木曜日<br/>※第5回：10月25日 水曜日<br/>※第8回：11月18日 土曜日（公開講座）<br/>10時から11時45分<br/>全12回<br/>※保育説明会：9月21日（木曜日）</p> | <p>・子育てについての様々な情報をすぐに手に入れられる現代。その情報が正しいのかどうかを判断するのは難しい。孤立しがちな子育て中の人、溢れる情報に惑わされず焦らず気持ちをゆったりと軽やかに子育て期を楽しむヒントとなる講座とする。</p> <p>・ジェンダーについて、どのように捉えて子育てをしていけばよいのかを考えるきっかけとする。</p> <p>・互いに学び合う中で、地域の子育て中の仲間としてつながりを持つ機会とする。</p> | <p>中田利恵（タッピングタッチ協会認定インストラクター）<br/>細田恭子（いのちのお話「くもといっしょに」主宰）<br/>四本裕子（東京大学教授心理学者）<br/>樋口綾子（日本アロマ環境協会インストラクター）<br/>滝村雅晴（株式会社ビストロパパ代表・パパ料理研究家）<br/>南雲みさ（日本ハーバリウム協会認定講師）<br/>鈴木はな（㈱ランドホー）<br/>安藤奏汰（元ダブルダッチ世界チャンピオン。当事者としてLGBTQの啓発活動を行う。）</p> |
| 7 | ひばりが丘 | 子育て中の人のための講座<br>「未来のタネ」がきっと見つかる<br>～夢がかなう子育てのヒント～ | 1<br>2 | <p>9月29日から<br/>12月8日<br/>金曜日<br/>10時から11時45分<br/>全11回<br/>※保育説明会：9月22日（金曜日）</p>  | <p>安心・安全な場で語り合い、自分自身と向き合い、自信を取り戻すことで、「子どものために〇〇しなくては」という思い込みを疑い、あふれる子育て情報に惑わされることなく、目の前の子どもと向き合うことの意味や意義をとらえ返す。</p>  | <p>清水陽子（アドラー心理学・親子関係講座SMILEリーダー）<br/>西山さつき（NPO法人レジリエンス代表）<br/>小笠原舞（合同会社こどもみらい探求社共同代表、asobi基地代表）<br/>藤田奈津子（asobi基地事務局）<br/>西村直人（音楽療法士、NPOえほんうた・あそびうた代表）<br/>高橋真友子・時得有紀（カモミール）<br/>大倉育美（おさがりひろば）</p>                                      |

|   |      |   |                  |  |   |                              |
|---|------|---|------------------|--|---|------------------------------|
| 8 | 保谷駅前 | 多文化カフェ<br>ウクライナ避難民の方々と交流  | 2                | 9月29日<br>金曜日<br>14時から16時                           | ウクライナからの避難民の方の話を聞き、交流する。  | ウクライナ避難民運営食堂<br>「Nadiya」スタッフ |
| 9 | 保谷駅前 | 【共催事業】<br>人権講座<br>子どもの権利を考える<br>～西東京市子ども条例すごろくマジか！であそぼう～<br>※「西東京わいわいネット」との共催 | 1<br>2<br>3<br>4 | 12月2日<br>土曜日<br>10時から12時<br>※準備会（製作期間）を<br>13回実施予定 | 令和2年度からの継続事業。<br>西東京市子ども条例の普及を目的に、準備会に参加する子どもたちが協力して「西東京市子ども条例マジか！すごろく」を完成させる。そのすごろくの普及を目的として、まず、参加者どうしですごろくで遊び、普及させることの意義を講師から話していただく。 | 野村武司（東京経済大学教授、弁護士）           |